# 平成21年9月期 第3四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名　シイエム・シイ　　上場取引所　JQ
コード番号　2185　　URL　http://www.cmc.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）龍山　真澄
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長　（氏名）成田　克己　TEL 052-322-3351
四半期報告書提出予定日　平成21年8月7日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年9月期第3四半期の連結業績（平成20年10月1日～平成21年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年9月期第3四半期 | 9,233 | — | 1,182 | — | 1,190 | — | 727 | — |
| 20年9月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年9月期第3四半期 | 332.98 | — |
| 20年9月期第3四半期 | — | — |

（注）平成20年9月期第3四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年9月期第3四半期 | 9,557 | 7,286 | 76.2 | 3,247.52 |
| 20年9月期 | 8,932 | 6,163 | 69.0 | 3,091.70 |

（参考）自己資本　21年9月期第3四半期　7,286百万円　20年9月期　6,163百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| （基準日） | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年9月期 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 21年9月期 | — | 0.00 | — | | |
| 21年9月期（予想） | | | | 40.00 | 40.00 |

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年9月期の連結業績予想（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 13,148 | 0.8 | 1,505 | 15.4 | 1,517 | 11.6 | 925 | 17.8 | 420.50 |

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

［（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。］

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 21年9月期第3四半期 | 2,243,600株 | 20年9月期 | 1,993,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年9月期第3四半期 | —株 | 20年9月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 21年9月期第3四半期 | 2,185,908株 | 20年9月期第3四半期 | —株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1.　連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受け多くの企業の業績が悪化するなど、かつてない景気後退局面を迎えました。また、当社グループの顧客企業においても、各種予算の大幅な縮小が見られるなど、経営環境は厳しい状況となりました。

このような経済環境のもと、当社グループは「真のマーケティング・カンパニー」をめざし、主力である取扱説明書や修理書の企画・編集・制作を行うカスタマーサポート・マーケティングをベースに、お取引先の商品教育や販売教育、業務標準化、販売促進などの様々なマーケティング活動に取り組んでまいりました。

また、システム開発事業においては、システムの企画・開発等に関わるコンサルティングからソリューションの提供、更には地方自治体向け公共システムや物流・流通システムの提供など、主要顧客への受注拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,233百万円、営業利益1,182百万円、経常利益1,190百万円、四半期純利益727百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

（マーケティング事業）

売上高を事業分類別にみますと、商品教育活動、販売・サービス教育支援活動、業務標準化活動などを行うインターナル・マーケティングは1,084百万円、宣伝・広告・プロモーション活動や販売促進活動などを行うエクスターナル・マーケティングは986百万円となり、いずれもお取引先企業の経費削減や投資抑制による影響を受ける結果となりました。一方、取扱説明書や修理書の企画・編集・制作を行うカスタマーサポート・マーケティングは、計画外物件の受注や既受注物件での追加受注等の増加により5,115百万円となりました。印刷業務を行うトータル・プリンティングは734百万円、コンビニエンス店舗売上を主とするその他については140百万円となりました。これらの結果、マーケティング事業の売上高は8,062百万円、営業利益は1,190百万円となりました。

（システム開発事業）

ソフトウエア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要顧客の業績悪化による影響を受け、売上高は1,171百万円、営業損失は13百万円となりました。

2.　連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、9,557百万円となり、前連結会計年度末より624百万円の増加となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益及び株式の発行等による現金及び預金の増加1,546百万円と売上債権の減少1,086百万円であります。

なお、純資産は7,286百万円となり、自己資本比率は76.2％と前連結会計年度と比べ7.2ポイント改善しております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,546百万円増加し、3,234百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,370百万円の収入となりました。これは主として、法人税等の支払額727百万円による支出、たな卸資産の増加137百万円があったものの、売上債権の減少1,086百万円、税金等調整前四半期純利益1,232百万円の収入によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは206百万円の支出となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入39百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出227百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは382百万円の収入となりました。これは主として、配当金の支払39百万円があったものの、株式の発行による収入422百万円によるものであります。

3.　連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年５月８日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4.　その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

１．簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

２．四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成１９年３月１４日 企業会計基準第１２号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成１９年３月１４日 企業会計基準適用指針第１４号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」(平成１９年内閣府令第６４号)に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当第１四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会　企業会計基準第９号　平成18年７月５日公表分)を適用し、評価基準については、主として原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は13百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

### (1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結会計期間末<br>（平成21年６月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成20年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,234,718 | 1,688,359 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,468,301 | 2,554,700 |
| たな卸資産 | 838,316 | 701,082 |
| その他 | 333,080 | 279,284 |
| 貸倒引当金 | △4,450 | △6,820 |
| 流動資産合計 | 5,869,967 | 5,216,606 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 558,651 | 589,096 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 489,368 | 428,984 |
| 土地 | 1,769,793 | 1,769,793 |
| その他（純額） | 61,971 | 62,882 |
| 有形固定資産合計 | 2,879,784 | 2,850,757 |
| 無形固定資産 | 96,629 | 113,742 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 761,008 | 797,583 |
| 貸倒引当金 | △49,758 | △45,926 |
| 投資その他の資産合計 | 711,250 | 751,656 |
| 固定資産合計 | 3,687,664 | 3,716,157 |
| 資産合計 | 9,557,631 | 8,932,763 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 765,656 | 1,156,106 |
| 未払法人税等 | 223,500 | 384,000 |
| 賞与引当金 | 179,220 | 370,539 |
| 役員賞与引当金 | － | 57,900 |
| その他 | 622,790 | 261,120 |
| 流動負債合計 | 1,791,167 | 2,229,665 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 255,316 | 400,067 |
| 役員退職慰労引当金 | 160,329 | 139,233 |
| その他 | 64,688 | 177 |
| 固定負債合計 | 480,333 | 539,478 |
| 負債合計 | 2,271,501 | 2,769,144 |

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結会計期間末<br>（平成21年６月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成20年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 529,770 | 308,895 |
| 資本剰余金 | 443,430 | 222,555 |
| 利益剰余金 | 6,286,442 | 5,598,443 |
| 株主資本合計 | 7,259,642 | 6,129,894 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 26,488 | 33,725 |
| 評価・換算差額等合計 | 26,488 | 33,725 |
| 純資産合計 | 7,286,130 | 6,163,619 |
| 負債純資産合計 | 9,557,631 | 8,932,763 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成20年10月１日<br>至　平成21年６月30日） |
|---|---|
| 売上高 | 9,233,700 |
| 売上原価 | 6,478,202 |
| 売上総利益 | 2,755,498 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,572,601 |
| 営業利益 | 1,182,896 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,217 |
| 受取配当金 | 1,748 |
| 受取保険金 | 17,407 |
| 作業くず売却益 | 7,584 |
| 為替差益 | 297 |
| その他 | 7,203 |
| 営業外収益合計 | 35,459 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,077 |
| 株式交付費 | 3,267 |
| 株式公開費用 | 16,264 |
| 支払補償費 | 6,587 |
| その他 | 601 |
| 営業外費用合計 | 27,799 |
| 経常利益 | 1,190,556 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 10,771 |
| 退職給付制度改定益 | 46,224 |
| 貸倒引当金戻入額 | 7,170 |
| 特別利益合計 | 64,165 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 54 |
| 固定資産除却損 | 1,426 |
| 会員権評価損 | 21,000 |
| 特別損失合計 | 22,480 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,232,241 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 538,462 |
| 法人税等調整額 | △34,091 |
| 法人税等合計 | 504,371 |
| 四半期純利益 | 727,870 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成20年10月１日<br>至　平成21年６月30日） |
|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,232,241 |
| 減価償却費 | 203,523 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △144,750 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △19,538 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △191,318 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △57,900 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 21,095 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,965 |
| 支払利息 | 1,077 |
| 為替差損益（△は益） | 362 |
| 株式交付費 | 3,267 |
| 株式公開費用 | 16,264 |
| 固定資産売却損益（△は益） | △10,717 |
| 固定資産除却損 | 1,426 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,086,398 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △137,234 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △390,449 |
| 会員権評価損 | 21,000 |
| その他 | 463,476 |
| 小計 | 2,095,260 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,965 |
| 利息の支払額 | △132 |
| 法人税等の支払額 | △727,472 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,370,621 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △227,955 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 39,938 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17,302 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,090 |
| その他 | 164 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △206,245 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 株式の発行による収入 | 422,217 |
| 配当金の支払額 | △39,872 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 382,345 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △362 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,546,359 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,688,359 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,234,718 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第３四半期連結累計期間(自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日)

| | マーケティング事業(千円) | システム開発事業(千円) | 計(千円) | 消去又は全社(千円) | 連結(千円) |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 8,062,010 | 1,171,690 | 9,233,700 | — | 9,233,700 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 103,244 | 103,244 | (103,244) | — |
| 計 | 8,062,010 | 1,274,934 | 9,336,945 | (103,244) | 9,233,700 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 1,190,235 | △13,452 | 1,176,782 | 6,114 | 1,182,896 |

(注)１　事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

２　各区分に属する主要な製品

| 事業区分 | 主要な業務 |
|---|---|
| マーケティング事業 | インターナル・マーケティング<br>(業務標準化、ブランド・商品・販売に関わる教育研修等)<br>エクスターナル・マーケティング<br>(消費者に対するプロモーションを中心に広告やイベント、各種コンテンツ制作等)<br>カスタマーサポート・マーケティング<br>(自動車をはじめ様々な分野の取扱説明書・修理書の企画・編集・制作)<br>トータルプリンティング<br>(各種印刷) |
| システム開発事業 | コンピュータソフトウエア開発、人材派遣 |

３　4. その他 (3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更②に記載のとおり、当連結会計年度の第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第９号　平成18年７月５日公表分)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益は、マーケティング事業で13,933千円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第３四半期連結累計期間(自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第３四半期連結累計期間(自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年12月３日付けで、公募増資の払込を受けました。この結果、当連結会計年度の第１四半期連結会計期間において資本金が220,875千円、資本準備金が220,875千円増加し、当第３四半期連結累計期間末において資本金が529,770千円、資本準備金が443,430千円となっております。